



やよい、絆 28

第15号

令和5年6月

弥生町会連合会広報

令和5年3月30日 泉小学校・中学校 遊歩道の満開の桜

就任にあたって

弥生町会連合会 会長 本多 正



昨年5月、前会長の大橋信喜美氏が突然体調不良で休まれた為、急遽会長代行の職を仰せつかり、約10か月過ぎたこの4月の町会連合会総会にて、役員任期満了、改選が行われ、改めて会長の職に就くことになりました。多くの適任者がおられる中での任命に、責務の重みに身の引き締まる思いで過ごしています。

ここ数年、コロナウイルス感染拡大で日本中が自粛を余儀なくされ、町会活動も自粛の憂き目を見、町会連合会活動も縮小してまいりました。昨年末頃よりようやくコロナ鎮静化の兆しが見え、社会活動も動き始めましたので、今年1月、規模は大幅に縮小しましたが活動再開を目指して、弥生地区新年互礼会を町会連合会、公民館、社会福祉協議会3団体共催で開催することが出来ました。

今後、弥生町連の様々な事業を通じて、弥生地区28町会が強い絆で結ばれ、前大橋会長が目標として努力された「さらなる高みを目指し、住みよい文教地区弥生づくり」に微力ながら尽力致しますので、皆様のお力添えをどうぞよろしくお願い致します。

弥生町連会長を務めた5年間で振り返って・・・ 思い出すままに

大橋 信喜美

私は相川久嗣会長の退任を受け、2017年4月末から2022年4月初旬までのほぼ5年間の間、弥生町会連合会長を務めさせていただき、3期目の最後の1年を余して病に倒れ、副会長の本多正さんに会長代行を引き受けていただきました。この手記は、私が実質的に会長を務めた5年間の思い出として、弥生町連としての通常の活動以外のことで、私が特に意を注いだことについて書き留めたものです。何がしかお役に立てば幸いです。

ふるさとの偉人 木村榮博士に光をあて、その業績をひろく伝える活動に関連して 木村榮博士の生誕の地が弥生町連区域内にあることに因み、また、弥生の文化的な佇まいがより深まることを目指して、「ふるさとの偉人 木村榮博士に光をあて、その業績を広く伝える活動」を2017～2021年度にわたって弥生町連の活動として進めました。その糸口にと2017年度金沢市主催の地域コミュニティ活性化モデル事業に弥生町連として応募した結果、幸いにも採択されました。当事業の主たる行事として木村榮博士の活躍の地である岩手県水沢から講師として大江昌嗣先生（国立天文台水沢の名誉教授）を招いて講演会を開催しました。加えて、当事業では、小冊子「木村榮博士の発見したZ項とは」を作成しました。2019年度には、「木村榮博士に光をあて、の活動」を補完・充実する意味合いを込めて、地域コミュニティ活性化事業（一般事業）に応募し、幸いにこちらも採択された中で、二つの講演会、「未知の空間へ、未知の星へ -宇宙大航海時代の夜明け-」講師：金沢市教育長 野口 弘先生 並びに、「X線天文衛星で探る宇宙」講師：金沢大学・准教授 藤本龍一先生、及び 金沢市キゴ山ふれあい研修センターにてプラネタリウム鑑賞と施設見学会を実施し、宇宙への夢とロマンが醸し出されることで、とりわけ小・中学生には意義深い機会であったと考えます。

弥生町連メーリングネットワークの整備 2018年2月初旬、大雪に見舞われたことを受けて、2月11日（日）「金沢 除雪協力デー」に合わせて一斉除雪への協力を呼び掛ける際、弥生町連では事務局と私とで手分けをして各町会長に電話および直接訪問にて協力方を伝えたのですが、電子メール等による手取り早い連絡手段があればと痛感した次第です。これを機会に町会長と町連間の緊急メールシステムを整備することにより相互の連絡が迅速に行えるようになりました。

インターネット・ホームページの立ち上げ・公開 2021年4月に金沢市町会連合会のホームページが公開されるとの情報に触発されて、弥生町会連合会においてもその活動をより身近に地域の皆様に知っていただくために2020年10月に弥生町会連合会ホームページの作成に取りかかり、2020年11月末に公開の運びとなりました。今後は、ホームページの日々更新に力を注いでいただければと期待するところです。

各種団体への負担金のコロナ禍における減額について 2020及び2021年度は各種団体に関連する行事がコロナ禍のゆえに中止となり、それに伴って2021及び2022年度のそれぞれの各種団体への負担金は減額することとなりました。その減額高は以下のやり方にて決められました。（コロナ禍のために行事等が中止されたことにより減少した支出の総額）－（代替事業等により増加した支出の総額）＝ 正味の支出量の減額高。

野町消防分団への非定常的財政支援について 近年、全国的な大災害の発生頻度の増大により、各地の消防分団の重要性がますます高まっているなか、2018年度金沢市消防操法大会で優勝し、石川県大会に出場することとなった「野町消防分団」への非定常的財政支援（装備品費、訓練中の食費等）について、弥生町会連合会からは、所属する各世帯員が等しく、野町分団員の日ごろの活動に敬意を表し、快挙に祝意を伝えたいという考えに基づき、各世帯から400円の一律拠出に加えて不足分は弥生町連の予備費から拠出するという弥生町連役員サイドの提案が当月の定例町会長会議において了承されました。野町分団への同種の非定常的財政支援のあり方の一つとして参考になれば幸いです。

小冊子「弥生小（泉小）・泉中改築促進期成同盟会とともに歩んだ歲月」について 2012年5月、相川久嗣 元弥生町連会長のもとに設立された弥生小（泉小）・泉中改築促進期成同盟会がほぼ10年を経た2022年の3月末、泉小・泉中の改築の完了を以て解散することとなりました。ついては、標記の小冊子を作成し、2022年3月の町会長会議にて町会長の皆様に配布し、弥生町連ホームページへの掲載をお伝えしたところです。

「令和5年度地域コミュニティ活性化事業の募集」 に関するお知らせについて

金沢市では町会や校下（地区）町会連合会を対象に、町会加入やコミュニティ活性化に向けた自主的な取り組みを応援し、補助対象経費の3/4以内（限度額あり）の補助を受け事業を行うことが出来ます。

令和5年3月の町会長会議にて町会長の皆様にはご案内いたしましたが、4月上旬より令和5年度の事業が募集されていますので、興味ある町会の皆様は金沢市のホームページよりダウンロードしてご確認ください。又、問い合わせが必要であれば、金沢市市民局市民協働推進課 076-220-2026 へご確認ください。

これまでの採択事業例は

防災訓練、防災講習会の実施、自然体験、スポーツ、文化祭等の交流イベントの開催
地元の歴史を学ぶ学習会の実施、町会の歴史や情報等を掲載したパンフレットの作成
等があります。

過去、弥生町会傘下の下記町会等がこの制度による助成を受け事業を実施しています。下記にご紹介致しますので、町会活動活性化に向けて、多くの町会が続いて事業実施を検討されることを期待しています。

採択例1. 泉が丘致芳会（町会長 相川 久嗣）

- 事業の名称 泉が丘致芳会 町会誌発行（町名変更50周年記念）
事業実施期間 平成29年7月～平成30年2月28日
事業の目的 昭和42年7月、地黄前町より泉が丘に町名変更されて以来、平成29年に50年を経過した。半世紀も経つと、地黄前町時代の記憶、面影が失われ、先人の歴史、営みが失われないように町会誌を作成し後世に残す。








採択例2. 弥生町会連合会（会長 大橋 信喜美）








- 1 事業の名称 弥生ゆかりの偉人木村榮博士に光をあて、その業績を啓蒙する活動
事業実施期間 平成29年8月1日～平成30年2月28日
事業の目的 生誕地が地区内にある弥生ゆかりの偉人、木村榮博士の業績の啓蒙活動を通して、とくに次代を担う子供たちに夢と学業への励みを与え、弥生の文化的な雰囲気さをさらに高めることにより、泉小・泉中を中心に広がる「文教地区 弥生」の資質のより一層の向上に資する。
- 2 事業の名称 弥生ゆかりの偉人木村榮博士に光をあて、その業績を啓蒙する活動
事業実施期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日
事業の目的 木村榮博士の業績を啓蒙する活動を糸口として、宇宙ロマンへの夢をはぐくみ、住民に希望を与える街づくりを中心的テーマに掲げ、講演会、泉小での偉人教育への参加、キゴ山プラネタリウム、金沢ふるさと偉人館の見学会等の事業を行う。


採択例3. 泉獅子保存会（会長 太田 清佳（泉新町第一町会））








- 事業の名称 獅子舞と能でつなぐ国造神社の氏子7町会等の連携・活性化事業
事業実施期間 令和4年7月15日～令和5年3月31日
事業の目的 地域の誇りとして代々伝えられてきた獅子舞と加賀宝生を、弥生及び三馬校下の氏子町会及び能楽会が協力しながら実施、地域を盛りあげると共に、伝統文化の保存、継承することを目的とする。

令和5年度 町会役員一覧

No.	1	2	3	4	5	6	7
町会名	泉町交友会	泉新町第一町会	泉新町第二町会	泉旭町一丁目町会	泉旭町二丁目東部町会	泉旭町二丁目西部町会	泉旭町三丁目町会
世帯数	125	50	50	82	80	36	82
町会長	 寺分 重喜	 宮下 勉	 中村 勉	 遠藤 和宏	 福村 吉昭	 浅島 雄一	 夏目 哲理
副会長	深井 忠正 高山 正規	太田 清佳 上出 栄一 小村友美恵	安田 利夫	黒田 真吾 山越 将之	矢来 正和	木村 由美子	安藤 謙輔
会計	堀 陽一	剛谷 佳克	野口 浩明	村本 義和	堀田 晶	市村 達也	向井 俊二

No.	8	9	10	11	12	13	14
町会名	生和会	富樫町会	泉が丘致芳会	泉が丘愛香会	弥生が丘町会	弥生が丘南町会	東部弥生町会
世帯数	161	103	250	112	149	35	73
町会長	 武田 秀一	 東 正博	 山田 達雄	 喜多 剛士	 新保 克之	 金谷 英明	 高橋 圭
副会長	吉田 栄人	中谷 和弘	宇罗 裕基 阿慈知和幸	徳川 勝之 羽部 静代	中村 俊雄	宮岸 和生	雛形 信義
会計	辻 泉	西田 昌子	柴田 政秋 相田 宏治	田中 由宏	瀬領 陽子	和泉 克秀	東 啓子

No.	15	16	17	18	20	21	22
町会名	中部弥生町会	弥生上丁町会	弥生第一町会	芦中町町会	六斗林一丁目親誠会	有松町会	泉野町三丁目町会
世帯数	33	42	41	71	54	29	400
町会長	北川絵理美	 鏡 幸彦	 中濱 正人	 海道 一彦	 道下 一則	 水野 正人	 山田 哲也
副会長	西村 透	江間 肇	松本 純治	上嶋 張靖	藤溪 学	朝倉 寿一	杉林 秀晃
会計	北川絵理美	横山 英樹	稲葉 洋子	中川 義治	二口 慶一	井口 昭一	八田起世子

No.	23	24	25	26	27	28	29
町会名	南が丘町会	泉が丘平成会	泉が丘親成会	エスト泉が丘町会	泉が丘竹の子町会	泉が丘さくら町会	泉野図書館前町会
世帯数	70	56	55	30	23	40	20
町会長	 古畑 徹	 木下 秀友	 納谷 桂行	 本多 正	 高桑 徹	 櫻井 武	 山本 陽介
副会長	小森 勲 中澤 友伸	武部 三雄	森 一洋		牧野 晃治	古田土暢子	吉村聡太郎
会計	藤田 秋雄	由井 邦子	菅 幸生	和泉 聡	西嶋 浩司	北川 育秀	松本 晶子

令和5年度弥生各種団体等役員

弥生町会連合会

会 長	本多 正	エスト泉が丘	理 事	中村 昇	泉野町三丁目
副 会 長	寺分 重喜	泉町交友会	会 計 監 査	島田 和夫	泉旭町三丁目
副 会 長	山田 信行	泉が丘竹の子	会 計 監 査	山田 達雄	泉が丘致芳会
理 事	森田 憲	弥生上丁	事 務 局	谷内 昌子	泉新町第一
理 事	額谷 仁	六斗林一丁目親誠会			

弥生防犯委員会

委 員 長	大館勇喜夫	六斗林一丁目親誠会	理 事	廣畑 泰之	生和会
副 委 員 長	脇坂 昌芳	泉旭町二丁目東部	理 事	柳瀬 博志	富樫
会 計	虎本 正敏	弥生が丘	理 事	濱下 博行	弥生が丘南
理 事	北 三代至	泉町交友会	理 事	高井 博之	六斗林一丁目親誠会
理 事	鶴見 正樹	泉旭町三丁目	監 事	南 孝嗣	泉野町三丁目

弥生自主防災会

会 長・防災士	本多 正	エスト泉が丘	防災士・総務	棒田 美枝	泉野町三丁目
副会長・防災士	森 博幸	生和会	防 災 士	高木 英美	泉町交友会
副 会 長	山田 信行	泉が丘竹の子	防 災 士	森田 和延	芦中
防 災 士	宝田 喜作	泉新町第二	協働連絡委員	佐藤 俊作	泉が丘さくら
防災士・総務	河合 睦	弥生公民館主事	協働連絡委員	大館勇喜夫	六斗林一丁目親誠会
防 災 士	村田 昌代	中部弥生	総 務	谷内 昌子	泉新町第一
防災士・総務	有松由美子	泉新町第二	会 計	東 晴美	泉野町三丁目
防 災 士	渡邊 浩志	東部弥生	監 事	中村 昇	泉野町三丁目

弥生地区連合長寿会

会 長	中田 邦雄	泉旭町一丁目	理 事	武部 善明	泉が丘致芳会
理 事	大橋信喜美	泉野町三丁目	会 計	高田 輝信	泉旭町二丁目東部
理 事	石田 善松	生和会	監 事	中山 一郎	富樫
理 事	吉谷 秀昭	泉町交友会			

金沢中街頭交通推進隊弥生支隊

支 隊 長	海道 正人	泉町交友会	隊 員	水巻 啓光	生和会
隊 員	小泉 章一	東部弥生	隊 員	魚屋 春成	泉町交友会

弥生少年連盟育成委員会

委 員 長	助田外志成	泉が丘致芳会	書 記	辻 友加里	泉旭一丁目
副 委 員 長	村田宗一郎	泉旭町二丁目西部	会 計 監 査	岩井 直美	弥生上丁
副 委 員 長	黒田 真吾	泉旭町一丁目	会 計 監 査	西村 亜紀	中部弥生
副 委 員 長	田辺 順子	生和会	理 事	宝田 喜作	泉新町第二
会 計	吉田麻優美	泉新町第二	理 事	沼田 聡一	生和会
会 計	山脇 幸子	泉野町三丁目	理 事	山本 悦子	泉野町三丁目
書 記	宇多 陽子	泉が丘致芳会	理 事	渡邊 浩志	東部弥生

弥生婦人防火クラブ

委 員 長	成出 浩子	泉旭町二丁目東部	副 委 員 長	三国 範子	泉新町第一
-------	-------	----------	---------	-------	-------

弥生校下赤十字奉仕団

委 員 長	石田 善松	生和会	副 委 員 長	東 晴美	泉野町三丁目
-------	-------	-----	---------	------	--------

防災訓練について

**今年の弥生地区防災訓練は秋（11月）の実施ではなく
8月27日（日）金沢市民防災訓練（弥生地区参加）として行われます。**

今年2月、二十八年前の阪神大震災を思い出させるようなトルコ大地震が発生、トルコ・シリアの数万人の人命が失われました。近年日本のみならず世界各地で火山爆発、大地震、大風水害が発生、その災害被害は昔と比較できないような災害規模となっています。

私たちは日本の中で比較的大災害が起きていない金沢に住んでいますが、金沢には森本・富樫断層帯という活断層が存在し、いつ大地震という牙を剥くかわかりません。

ある日突然起きる大災害（地震や風水害）に対し、私たちは常に身を守ることを考え準備をしておく必要があります。自分自身はもとより家族の命を守らなければなりません。

年1回秋に行っています弥生町会連合会自主防災会の防災訓練は、大災害が起きた時に私たちが身を守り行動すべきことを、平常時に訓練をして身に覚えさせることを目的にしています。

毎年秋の弥生自主防災会による各町会の防災訓練は次の要領で行われています。

各町会主体の「まちなか訓練」と弥生町会連合会自主防災会主体の「拠点避難所での訓練」の二段階訓練が行われています。

「まちなか訓練」とは

訓練開始時間は年度により変わることがありますが、通常は午前8時に自分たちの住んでいる地域をM7.2の大地震が発生したとの想定で訓練が開始されます。

1. 午前8時：各世帯員は0次避難場所（班長自宅前）に集合し、自分の世帯全員が安全である旨の報告を班長に行う。
2. 班長は自分の班の各世帯の構成員数の安全確認者、安否不明者、地域外在住及び施設等入居者の合計数を集計し、町会の一次避難場所に集合します。
一次避難場所は各町会で公園や広場等安全が確保できる場所をあらかじめ決めてありますので確認してください。
3. 一次避難場所に町会長はじめ町会役員が待機していますので、班長は自分の班の構成員の安否情報集計結果を報告します。町会長は町会構成員の安否情報の集計を行います。以上で「まちなか訓練」は終了します。

班長は年度初めの4月、班長の役を受けた時点で、班各世帯の人数、名前、性別、在宅 or 地域外居住、施設入居等を確認し班構成員情報を確認しておく必要があります。

実際大災害が発生した場合、全世帯が班長宅前に集合することなど出来ないと思われます。班長も被災するかもしれませんし、動ける人たちが近くの被災に会った人たちを直ちに救出することも必要です。なにより、

班長も町会長も「誰が安全」で「誰が安否不明」なのか、情報を正しくつかむことが全ての基本になります。そのため「まちなか訓練」を実施しています。

「拠点避難所での訓練」とは

弥生地区の拠点避難所は泉小学校になります。「まちなか訓練」を終えた町会は、町会役員及び拠点避難所での訓練に参加できる班長が泉小学校、泉中学校に集合します。

自主防災会の役員、関係者、北陸病院関係者、野町消防団、日本赤十字社等が指導し参加者に種々の訓練を体験してもらいます。毎年訓練内容は少し変わりますが、令和4年度の訓練をご紹介します

スタート 安否情報訓練 —— <情報班・管理班>

A 防災用品等の展示

B マンホールトイレ見学 —— <機動班>

C 救護活動 三角巾・Tシャツ等での担架作り —— <北陸病院・救護班>

D AED訓練 —— <日本赤十字社>

E 煙中訓練 —— <野町消防団・金沢市中央消防署泉野出張所>

F 起震車体験（地震） —— <野町消防団・金沢市中央消防署泉野出張所>

ゴール 支援物資配布訓練 —— <食料・物資班>

「拠点避難所での訓練」に興味をお持ちの方、参加してみたいと思われる方は、各町会役員に申込、積極的に参加いただければと思います。

令和5年 弥生新年互礼会

コロナ感染拡大のため中止となっていた弥生新年互礼会が、3年ぶりに1月21日（土）午後7時より金沢国際ホテルで行われました。例年、弥生地区住民及び来賓ら約150名前後の出席で盛大に行われてきましたが、コロナ感染拡大が多少収まりつつあるとはいえ、感染に十分注意をし、規模を大幅に縮小計47名の参加となりました。（写真右）



山田信行弥生町会連合会会計監査の司会・進行のもと、本多正弥生町会連合会会長代行の年頭挨拶に続いて、弥生地区に関係の深い市会議員3名のご祝辞を頂き、木村文昭弥生公民館館長のご発声で乾杯し、和やかな歓談の輪が繰り広げられました。

初春ビンゴゲームによる抽選会を楽しみ、互いの親睦が深まり名残惜しさを残しながら、来年度の新年互礼会が盛大に開催できることを期待し、寺分重喜弥生町会連合会副会長による中締めの後、田辺一幸弥生地区社会福祉協議会会長の閉会挨拶をもって午後9時ごろお開きとなりました。

年間行事

令和4年度 行事報告

<令和4年>

- 4月22日 令和4年度弥生町会連合会総会
- 5月29日 春の全市一斉美化清掃
- 5月29日 雀谷川河川清掃
- 6月24日 広報「やよい絆 28」第14号発行
- 9月10日 特 泉町交友会（獅子舞と太鼓と踊りの夕べ）
- 9月22日 特 泉町交友会獅子頭飾り（泉八幡神社）
- 9月18日 特 獅子舞（国造神社）
（泉新町第一町会 泉新町第二町会）
- 10月16日 秋の全市一斉美化清掃
- 10月30日 金沢マラソン
- 11月20日 弥生自主防災訓練

<令和5年>

- 1月 8日 公 二十歳のつどい（東急ホテル）
- 1月21日 弥生新年互礼会（国際ホテル）

特：特区事業 公：公民館主催行事

令和5年度 行事案内

<令和5年>

- 4月28日 令和4年度弥生町会連合会総会
- 5月28日 春の全市一斉美化清掃
- 5月28日 雀谷川河川清掃
- 6月3・4日 百万石まつり
- 6月 特 雀谷川ホテル観賞会
- 6月23日 広報「やよい絆 28」第15号発行
- 6月24日 泉小学校開校19周年記念事業
- 8月27日 弥生自主防災訓練
- 9月 特 泉町交友会
獅子舞と太鼓と踊りの夕べ
泉町交友会獅子頭飾り
（泉八幡神社）
- 9月 特 獅子舞（国造神社）
（泉新町第一町会 泉新町第二町会）
- 9月 特 泉が丘致芳会獅子頭飾り
（地黄八幡神社）
- 10月 公 社会体育大会
- 10月15日 秋の全市一斉美化清掃
- 10月29日 金沢マラソン

<令和6年>

- 1月 7日 公 二十歳のつどい（東急ホテル）
- 1月 弥生新年互例会（金沢国際ホテル）

編集後記

ここ数年、満開の桜を見ても心が躍らない気分でしたが、今年の金沢の満開の桜は、天候にも恵まれて、心も体も素晴らしく、晴れやかになりました。

昨年末頃よりコロナ感染拡大沈静化の傾向が見られ、5月8日より感染法上の分類も2類より5類となり、いよいよ弥生町会連合会活動も本格的に再開致します。

やよい絆 28 第15号予定通り発行することが出来ました。より良い広報誌を目指す為、皆様のご意見をお待ちしています。事務局への連絡をよろしくお願いいたします。

編集子

「やよい 絆 28」第15号
令和5年6月

発行
弥生町会連合会

金沢市弥生 1-29-13
TEL 241-5201
FAX 236-2237